

# 驢馬のびつこ

新美南吉

青空文庫



張が かいゝ 驢馬を 一匹 買ひました。ところが 歩かせて 見ると その 驢馬は びつこを ひくのです。

「なぜ びつこを ひくのだらう。」と 考へて 見ましたが わかりません。ちようど とほりかゝつた 物しりを よびとめて たづねて 見ると、物しりは、驢馬の からだ 體を よく しらべてから いひました。

「耳と 耳の 間に 錢ほどの 禿が ある、この 禿に 風が あたつて 寒いから びつこを ひくのぢや。帽子を つくつて かむせたが、よからう。」

やつぱり 物しりだけ あつて、利口な ことを いふと 張は かんしんしながら、羊の 毛で 圓い 帽子を つくりました。それを 驢馬の 頭に かむせて、さて 歩かせて 見ると やつぱり びつこを ひきまず。張は 物しりに だまされたと 思つて、まづかに なつて 驢馬を ひつぱつて ゆきました。

「人を だますにも ほどが ある。お前さんの いふとほり 帽子を かむせたが やつぱり びつこを ひくでは ないか。」すると 物しりは おちついて、

「いや こんな 帽子では いかん、驢馬の 耳を おしこむので 耳が いたいのぢや

。「と いふのでした。なるほどと 思つた 張は、家に かへつて 帽子に 二つの 穴を あけ、そこから 二つの 耳を 出して やりました。ところが 歩かせて 見れば やつぱり びつこを ひきまます。又 おこつて 物しりの ところへ がなりこんで ゆくと、

「いや あれでは、耳が 寒いから いけない。」と いひまます。なるほど さうだつた と 思つて、こんどは、二つの 耳に 長い 袋を かむせました。けれど びつこを ひくのは 前と 同じ ことです。いよいよ 物しりめ、わしを だましたなど 思つて、 げんこつを ふりあげながら とびこんで ゆくと、物しりは、

「まちなさい、お前さん とんまだね、あれぢや 耳が 聞えないぢや ないか。」と いひまます。たしかに さうだ、と、張は 家に かへりましたが、こんどは どう して いゝのか さつぱり わかりません。袋に 穴を あければ 風が はいつて 寒いので せうし——。

張は 十日も 二十日も ろくろく ご飯も たべず 考へましたが、よい 考へは うかびません。ある 日 とほりかゝつた 村人を とらへて、

「この 驢馬の 耳が 聞えるやうに するには どう したら えゝでせうな。」と

きゝますと、その人は、

「なんでもないよ、帽子をとつてやりなさい。」とこたへました。

「こいつは名案だ。」と叫んで、張は帽子をとつてすてました。そして、驢馬の耳に口をつけて、

「驢馬 やーい。」とどなりました。すると驢馬はくすぐつたくて、耳を二三度びくびくさせました。張はそれを見て、

「やあ聞える聞える。」とよろこんでおどりあがりました。



# 青空文庫情報

底本：「校定 新美南吉全集第四巻」大日本図書

1980（昭和55）年9月30日初版第1刷発行

1987年（昭和62）年2月15日第3刷発行

初出：「きつねの おつかい」福地書店

1948（昭和23）年12月5日

入力：高松理恵美

校正：川向直樹

2005年3月17日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 驢馬の びつこ

新美南吉

2020年 7月17日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>